

# 琉球大学学術リポジトリ

## 八重山諸島与那国島における洞窟性十脚目甲殻類2種の新産地記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤田, 喜久, Fujita, Yoshihisa メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38793">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38793</a>

## 八重山諸島与那国島における洞窟性十脚目甲殻類 2 種の新産地記録

藤田喜久

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵 1-4 沖縄県立芸術大学 (e-mail: fujitayo@okigei.ac.jp)

## 記録

八重山諸島与那国島において 2007 年 11 月 15-18 日に実施した陸棲・半陸棲・陸水棲十脚目甲殻類の分布調査の過程で、1 カ所の洞窟およびその地下水域から、ヌマエビ科のドウクツヌマエビ *Antecaridina lauensis* (Edmondson, 1935) と、ベンケイガニ科のドウクツベンケイガニ

*Karstarma boholano* (Ng, 2002) を採集した (図 1B-D)。

今回、両種が採集された与那国島の洞窟は、島の北西 (久部良の東) の海岸から 50 m ほど内陸に位置する小規模な洞窟 (奥行 6-7 m 程度) で、洞内の最奥部には、潮汐の影響を受ける陸封潮溜り (アンキアライン) 環境が存在する (図 1A)。今回得られたドウクツヌマエビ標本は、洞内の陸封潮溜りに設置したトラップに

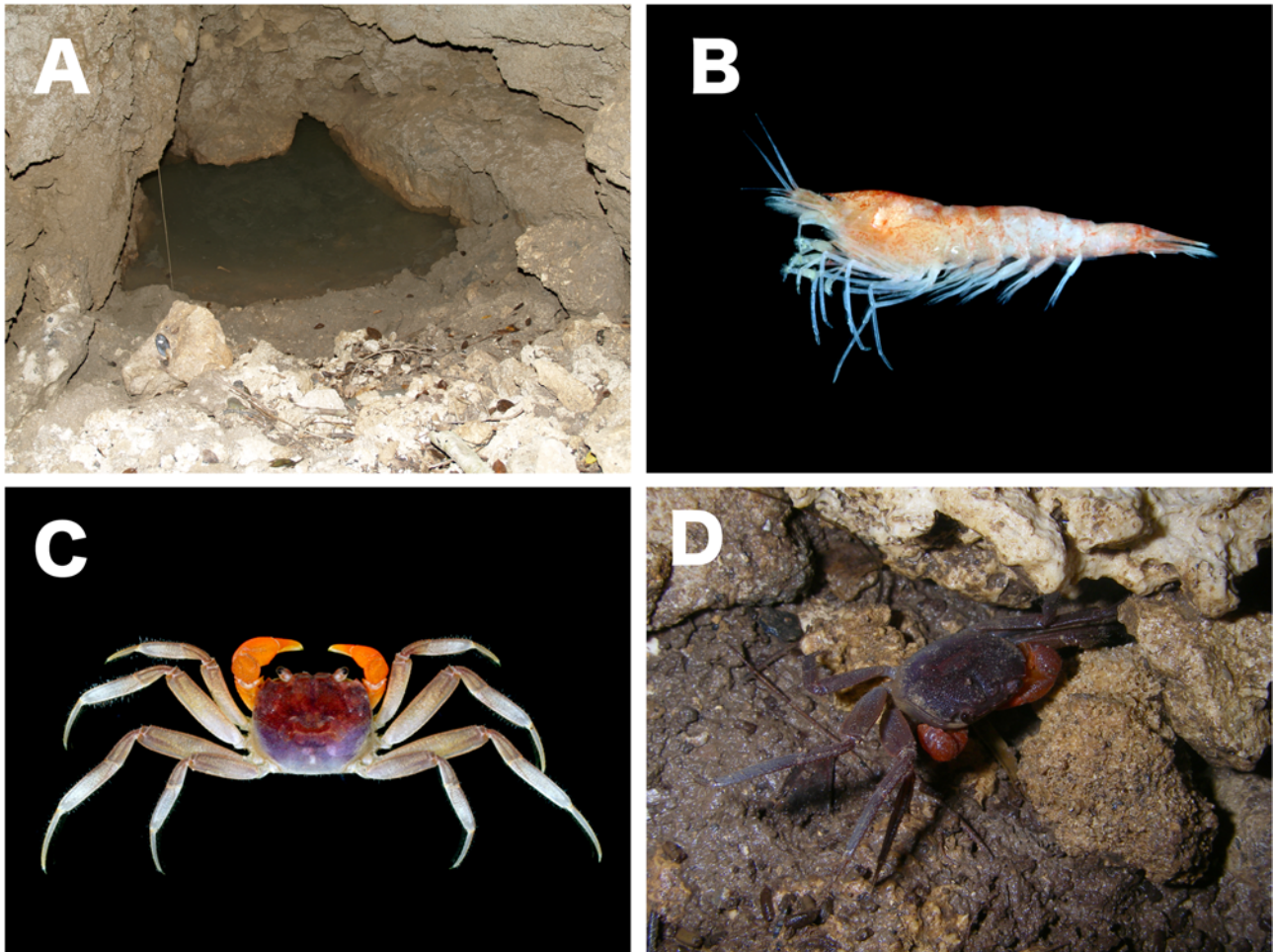


図 1. 与那国島の洞窟から採集された十脚目甲殻類 2 種。A, 洞窟内の様子; B, ドウクツヌマエビ, 全体側面, メス, 甲長 4.3 mm (RUMF-ZC-3997); C, ドウクツベンケイガニ, 全体背面, オス, 甲長 13.1 mm, 甲幅 15.6 mm (RUMF-ZC-3996); D, ドウクツベンケイガニ, 生時の様子 (RUMF-ZC-3996)。

Fig. 1. Two cavernicolous decapods collected from an anchialine cave in Yonaguni-jima Island, Yaeyama Island Group, southern Ryukyus, Japan. A, anchialine pool in a cave in Yonaguni-jima Island; B, *Antecaridina lauensis* (Edmondson, 1935), lateral view of fresh specimen (RUMF-ZC-3997, female, postorbital carapace length 4.3 mm); C, *Karstarma boholano* (Ng, 2002), dorsal view of fresh specimen (RUMF-ZC-3996, male, carapace length 13.1 mm, carapace width 15.6 mm); *K. boholano*, in situ photograph (RUMF-ZC-3996).

よって採集された。一方、ドウクツベンケイガニは、洞内の転石の下に潜んでいた個体を採集した。なお、今回得られたドウクツベンケイガニの標本は、藤田・成瀬 (2016) によって示された本種の特徴に概ね一致していたが、第3歩脚(第4胸脚)の底節基部から指節先端までの長さが最大甲幅の2.5倍、同脚長節の長さが幅の3.9倍であり、藤田・成瀬 (2016) による計測値よりも僅かに小さな値を示した [藤田・成瀬 (2016) ではそれぞれ2.79–3.00倍と4.07–4.33倍]。両種の標本は、琉球大学博物館(風樹館)(RUMF: Ryukyu University Museum, Fujukan)に収蔵しており、その詳細は以下の通りである: ドウクツヌマエビ (RUMF-ZC-3997, 1メス, 甲長4.3 mm, 2007年11月18日, 藤田喜久採集); ドウクツベンケイガニ (RUMF-ZC-3996, 1オス, 甲長13.1 mm, 甲幅15.6 mm, 2007年11月15日, 藤田喜久採集)。

国内におけるドウクツヌマエビの分布記録は、大東諸島の南大東島、沖縄諸島の沖縄島、宮古諸島の宮古島、伊良部島、多良間島、水納島、八重山諸島の石垣島と黒島から得られている(吉郷ら2003; 藤田・砂川2008; Weese et al. 2013; 藤田・小林2016; 藤田印刷中)。一方、ドウクツベンケイガニは、国内では宮古諸島の多良間島、八重山諸島の石垣島と波照間島から記録されている(Naruse et al. 2005; 吉郷・田村2008; 藤田・成瀬2016; 前之園・佐伯2016)。よって、今回のドウクツヌマエビおよびドウクツベンケイガニの報告は、標本に基づく与那国島からの初記録となる。

### 謝辞

本報の取り纏めの一部には、独立行政法人日本学術振興会の平成28年度科学研究費助成事業(基盤研究C: 課題番号16K07490: 研究代表 藤田喜久)による援助を受けた

### 引用文献

- 藤田喜久(印刷中). 宮古諸島水納島の十脚甲殻類相. 宮古島市総合博物館紀要, 21.  
藤田喜久・砂川博秋, 2008. 多良間島の洞穴性および陸性十脚甲殻類. 宮古島市総合博物館紀要, 12: 53–80.  
藤田喜久・成瀬貫, 2016. 多良間島初記録のドウクツベンケイガニ. Fauna Ryukyuana, 28: 23–

27.

- 藤田喜久・小林大純, 2016. 沖縄島における地下水性コエビ類2種の新産地記録. Fauna Ryukyuana, 28: 67–69.  
前之園唯史・佐伯智史, 2016. 新産地記録を伴う石垣島のベンケイガニ類相(甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目). Fauna Ryukyuana, 33: 1–13.  
Naruse, T., H. Nakai & H. Tamura, 2005. A new record of cavernicolous crab *Sesarmoides boholano* Ng, 2002 (Brachyura, Sesarmidae) from Ishigaki Island, Southern Ryukyu Islands, Japan. Biogeography, 7: 79–84.  
Weese, D.A., Y. Fujita & S.R. Santos, 2013. Multiple colonizations lead to cryptic biodiversity in an island ecosystem: comparative phylogeography of anchialine shrimp species in the Ryukyu Archipelago, Japan. The Biological Bulletin, 225: 24–41.  
吉郷英範・田村常雄, 2008. 八重山諸島波照間島から得られた洞穴性カニ類. 比婆科学, 228: 28–29.  
吉郷英範・田村常雄・巖道治・泉れい, 2003. 伊良部島(琉球列島・宮古諸島)の洞穴で確認された動物. 比婆科学, 210: 1–16.

### New distributional records of two cavernicolous decapods from Yonaguni-jima Island, Yaeyama Island Group, southern Ryukyus, Japan

#### Yoshihisa Fujita

Okinawa Prefectural University of Arts, 1-4  
Shuri-tounokura, Naha, Okinawa 903-8602,  
Japan (e-mail: fujitayo@okigei.ac.jp)

**Abstract.** Two cavernicolous decapods, *Antecaridina lauensis* (Edmondson, 1935) (Atyidae) and *Karstarma boholano* (Ng, 2002) (Sesarmidae), are recorded on the basis of specimens from an anchialine cave in Yonaguni-jima Island, Yaeyama Island Group, southern Ryukyus, Japan. This report represents the first records of these species from Yonaguni-jima Island.

投稿日: 2016年12月12日  
受理日: 2016年12月30日  
発行日: 2017年3月1日